

大阪府保育士会だより

# ほほえみ

平成18年4月1日

第72号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

♪春が来たよ♪つくしだろ♪すみれだろ♪と、歌う声にさそわれ散歩が楽しい新学期を迎えると、賑やかな泣き声大合唱に出逢うことでしょう。一つ進級した子どもたちの得意な顔やちよっかいを出しに近づきお尻をボンとたたいて逃げ草の可愛さに、新しい意欲をかりたてられる時となっています。保育界は年ごとに課題が増し、子育ての専門職として、世の中の期待は益々ふくれ上がって来ていますが、ともすると、専門職としての評価は比例していると感じられない点があります。子どもを育ちを支え、保護者の子育てを支えますと宣言している保育士としての力量が問われているのではないかと感じ、くやしき思いをします。

## 保育士の力量をアピールしよう



大阪府保育士会 会長 武内茂子

え、保護者の子育てを支えますと宣言している保育士としての力量が問われているのではないかと感じ、くやしき思いをします。けんそんが美徳のように思い、日頃の努力や子どもへの働きかけなど、日々がんばって保育している様子を世の中に知ってもらおうことが苦手なのか、PR全盛の世相に会っていないのかと自己反省することもあり

果たす役割を知っていたら、機会を生み出す機会を思っています。一人ひとり子どもを大切に、保育士一人ひとりの任を果たし世に役立つことであり、機会あるごとに知らせる努力があるのではないのでしょうか。子どもたちの笑顔を自分のエネルギーとして子育て支援に力をそそぐことが出来ると共に、子どものまわりの人々に理解し共に協力していただけるよう、がんばりたいものです。多くの保育士のエネルギーが日本の未来を明るくする力にかつて手をつなぎましょう。

お詫び 前号(71号)の「地域とともにふれあい大切に」の記事で、羽曳野市の高野保育園の園名が、高野保育園になっていました。お詫びして訂正します。

## 保育園はみんなの広場

月に1回「あそびの広場」



月に一度「あそびの広場」を行っています。事前に申し込まれた親子が、保育室で保育士と一緒に遊びます。季節に即した行事、製作、マット運動などで遊んだり、身体計測をしています。今回は、在園児と一緒に「イスとりゲーム」を楽しんだ後、「おひなさま」を親子一緒に作りました。今後も、地域の方々の出会いの場や、一緒に子育てを楽しめる場として、保育園を提供していきたいと思っています。泉佐野市 杉の子保育園

地域とともに  
ふれあい大切に



## 表情に明るさ生んで

### 親子で体験保育

育児に対して不安や悩みを抱えているお母さんたちの手助けができればと、子育て支援事業を始めて5年になります。毎週水曜日に1時間ほど、リトミックやモンテッソーリ体験保育など楽しい時間を過ごしています。始めはぎこちなくても、ピアノに合わせて体を動かし、教具を使って活動することで、親子が共に、自信のある態度や明るい表情に変わっていきます。そんな親子の様子を目のあたりにして、子育て支援の大切さ、役に立てる喜びを感じています。茨木市 ちとせ保育園

# 第三者 評価 まず「自己の見直し」 保育士の役割で研修



森田信司さん



大西宏幸さん



武内茂子会長



叶井泰幸主事

大阪社会福祉指導センターで1月23日、「第三者評価における保育士の役割」をテーマに、中堅保育士研修

会を開催し、参加者は228人でした。

はじめに、大阪府社会福祉協議会第三者評価センターの叶井泰幸主事が、第三者評価の周辺情報と目的と意義を分かりやすく話されました。

続いて、保育部会調査研究委員会の森田信司さんと大西宏幸さんが第三者評価を受けることにより、自園の課題が見え、その課題を職員全体で共有しながら、保育士一人ひとりが自己の保育を見直し、質の向上を図ることが大切であると話されました。

また、保育の質については、ばらつきが無く、人々によって差がでないことが質のよさであり、すべての保育士が同じ対応ができ

熱心に聴き入る参加者



要です。このマニュアルは画一的なものではなく、保育の中で行っていることを現場の意見も交えながら、その内容を見直し、文章化すればよいとのことでした。評価基準としての55項目（全種別共通）と34項目（保育所版）については、項目ごとに分かりやすく説明をしていただきました。計画を立てる時には、P（プラン・計画）D（ドゥ・実行）C（チェック）A（アクト・見直し）の大切さと課題をじっくりと見つめ、改善していかねばいけないことを再認識しました。

最後に大阪府保育士会武内茂子会長から、第三者評価はステップにすぎず、常

に「福祉」の心とプライドを持って自己研鑽をしていなければならない。子どもで第三者評価を一步一步前進するための評価ととらえ、がんばって下さいと励ましをいただきました。

## 安心・喜びの子育て 神戸で全国保育士会の研修会 カギ握るのは保育士



第2日目コース別研修 テーマ・講師

| コース | テーマ               | 講師   |
|-----|-------------------|--|
| A   | 子どもの主体性を引き出す遊び    | 国立音楽大学教授・副学長 繁下 和雄氏<br>フィールドワークスジョイ代表 成田 和夫氏<br>劇団まねっこ団長 黒須 和清氏<br>iのミュージック・ラボFUN 主宰 猪野 純氏 |
| B   | 保育における食育の実践       | 東京家政大学大学院助教授 酒井 治子氏  |
| C   | 保育の質を高める保育計画・指導計画 | 湘北短期大学教授 山岸 道子氏  |
| D   | 対人援助技術の実践         | スーパーバイザー 奥川 幸子氏<br>介護支援専門員 伊藤 照代氏  |
| E   | 障害児への保育           | 静岡英和学院教授 小沼 肇氏   |
| F   | 保育所におけるリスクマネジメント  | 国立保険医療科学 院障害保健部長 田中 哲郎氏  |
| G   | 実践発表の取り組み方        | 獨協大学経済学部 講師 藤井賢一郎氏   |

国保育士研修会が開催され、大阪府内から35人が参加しました。

第一日目の全体研修は、厚生労働省から「保育の動向と課題」をテーマに

○子ども、子育て応援プランの取り組み  
○保育施策の状況  
○幼保の連携  
○保育対策関係予算

をテーマに、行政説明がありました。続いて、全国保育士会、御園愛子会長の基調報告

「保育士の役割と全国保育士会の活動」の中で、保育をめぐる改革のうねりの中で保育士は、今何をすべきか考えること。社会が期待する保育士へ、さらに道を切り開いていくことが大切

であり、保育士がいるから安心した喜びの子育てができる」と誰もが思える社会を構築していきたい、と力強く話されました。講演は、保育園を考える親の会代表・普光院重紀さんによる「新しい子育て支援を探る」保護者の立場から①少子化と子育ての困難性②認可保育園に求められる子育て支援③信頼関係がなければ何もできない④すばらしい保育園の力、について話されました。

神戸ポートピアホテルで、1月30日（月）～2月1日（水）の三日間、第32回全

別研修が行われ、最終日の全体研修は、大阪市立大学大学院白澤政和教授の講演「保育におけるケアマネージャーの方法」がありました。



18年度

# 大阪府保育士会事業計画(案)



4月20日

平成18年度総会

(1)「すばらしい歌声を聞かせよう」童謡の歌い方のヒント」

講師・石井恭子氏

(2)「社会から注目される保育士として」

- 講師・関川芳孝氏
- 6月未定
- 中堅保育士研修会
- ① 8月1日
- ② 8月4日
- ③ 8月9日

保育士の専門性を高める研修会「主任保育士研修会」家族・地域への援助

9月11日

保育士研修会

「保育士の保護者対応について」

講師・丸山美和子氏

10月25・26・27日(福井県) 全国保育研究大会

内容をとし、技術演習を含めた連続研修会で、単

位制とし、修了書交付。

7月13・14日

近畿ブロック保育研究集

会(和歌山県)

11月10・11日(千葉県)

全国保育士会研究大会

11月17日

中堅保育士研修会

「保育所保育指針から学ぶ保育実践」

講師・川原佐公氏

19年1月22・23・24日

(京都府) 全国保育士研修会

18年度事業計画(案)は4

月の総会において決定致します。

## 保育士の学びシリーズ③

大阪府立大学(社会事業短期大学) 待井和江 名誉教授



1月21日に「総合施設に関する法律案」の概要が公表されましたが、新たな「認定こども園」と現存する「認可保育所」との関係が未確定であるなど、なお多くの課題を残しています。しかし今後、制度的にどのような位置づけになるうとも、保育所における保育の

基本は、子どもの最善の利益を考慮し、養護と教育が一体となって乳幼児の健全な心身の発達を図ることにあります。保育の原点は子どもの姿です。一人ひとりの子どもの発達段階やありのままの様相、何をやりたがっているのか、何に興味・関心を抱いているのかなどの把握は、保育の方向性や課題を明らかにし、その実現に向けての対応を模索し工夫する手がかりを提供します。そして子どもの姿の変化は、保育の質を実証するものと言えます。

### 保育の質の充実と向上をめざす

### 保育の質の充実と向上をめざす

いますが、長時間保育や多様な保育所が直面する厳しい現実の中では、十分な取り組みに至っていないと外部指摘や保育士自らの切実な声もあります。しかし、保育所にはその特性をふまえた取組みにす

年長幼児を対象とする幼稚園では、標準的な四時間の保育の終了後、担任は自分の保育をふり返り自己評価し、また全体会議の討議を経て、その結果を次の保育に生かし、質の向上につとめています。保育所においても同じ努力を意図して

ぐれた可能性があります。長時間保育は多面的な場と共に過すことで、一人ひとりの発達の全体像や個性をより深く理解する利点を持ちます。保育士は制約の多い中で、まず自己評価に力を注ぐべきです。ほとんどが複数担任制であり、保健師、栄養士など他の専門職の参加は、他者評価や相互啓発の機会となります。さらにスーパーバイザーとしての園長、主任のアドバイスを受けます。

こうした体制の強化や評価の積み重ねは、保育所保育の質の充実、向上を期するものであり、総合施設のあり方に対する主張でもあります。

## 専門職の知恵を借りて

## 手作りおもちゃ教室



### 子育て支援シリーズ⑮

東大阪市 ひし的美東保育園

平成11年から月2回程度10時から12時まで親子で参加する「げんきつくクラブ」を行っています。1〜4歳児を対象に、うた、手遊び、絵本の読みかけ、造形活動やお誕生会。また、ミニ運動会やおもちゃづくりなどの行事も楽しんで提供、一年3回ではな

く参加して頂いていく回数を増やしてほしい」と好評です。(写真) これからも、子どものかかわりをゆつたりと楽しみながら、園庭開放や手作りおもちゃ教室で出会ったお母さん方を楽しく子育ての輪が広げられるように私たちが頑張りたいと思いま

# たのしい保育活動



朝の9時からの朝会で、体操をする中で、その日の5歳児の当番が話し合ってから「今日は、かごめかごめをします」と、わらべうたを決めてみんなで歌い楽しんでいます。(写真)

に、わらべうたの指導に來ながら方向転換を一緒に楽しんでもらっていますが、みんなが大好きな「せんべせんべ」で遊ぶ時、同じリズムで手を打ちながら、「このせんべやけた」の所を変えて、「ズボンをはいているせんべやけた」「女の子のせんべやけた」などの呼びかけに、「ポーン」と言い

を当ててしまう子どもの「聴く力」に、ただ感心させられます。わらべうたのレパートリーも随分増えました。夕方、お迎えを待っているときも、わらべうたを何度も繰り返し遊んで遊び、歌声が保育園内に響き渡っています。

ひかり保育園  
上田 敏代

毎月2回、和歌山大学教育学部教授・嶋田由美先生



## 保育あんな工夫 こんな工夫

当園では、昔懐かしいわらべうたを取り入れた保育を行っています。(写真)

毎日、各部屋からどこか懐かしい心やすらぐ歌声が聴こえてきます。

今の子どもたちは、リズムミカルな歌やアップテンポの歌なども上手に歌いこなしますが、同時に落ち着きがなくったり、人の話を聴くということが苦手な



私たち保育士も進んでわらべうたの研修に参加し、数々の歌を子どもたちに伝えてきました。まだまだ勉強中ではありますが、わら

### 編集後記



- 調和する
  - 創り出す
- で成り立ち、ことばだけのコミュニケーションは相手に伝わらない。次の三つ①ことば7% ②声の調子(トーン)35% ③表情58%の配慮で伝えたいものが100%伝わるといふことでした。(実際は20%程度だそうです)

季節はずれの大雪に驚かされた年度末でしたが、ほかほか心地よい新年度のスタートとなりました。さて先日コミュニケーション・トレーニングの研修を受ける機会がありました。「心をつなぐコミュニケーション」「さわやかに生きるコミュニケーション」「子育てコミュニケーション」など。コミュニケーションは、一緒にいる

- 聴く(目耳心できく)
- 話す(表現する)

べうたを毎日歌い遊ぶことで、音楽性はもちろん、季節を感じたり五感を豊かにすることや、ルールを守ったり仲間関係が深まるなど、いろいろなことを学ぶことができました。

今では、ただ大きな声で歌うだけでなくきれいな声で丁寧に歌い、友だちや先生の歌をじっくり聴く姿や落ち着きが見られるようになりまし

た。乳児に関しては、保育士一対一でやさしく歌って

太陽保育園 東 麗子

心のふなわらべうた

